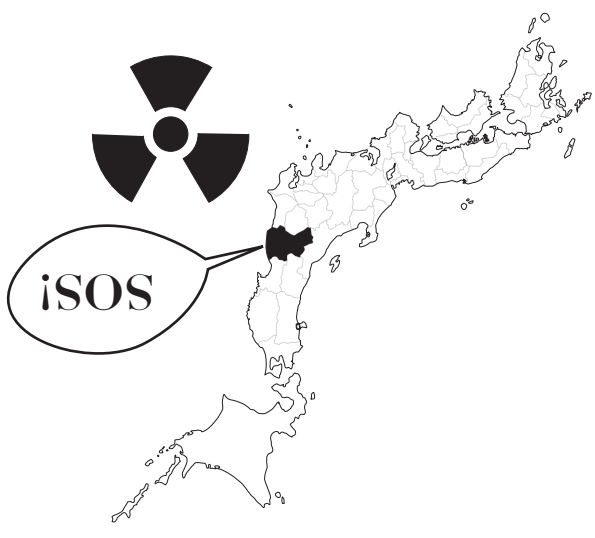


動きたくても動けない 「いま」

放射線量の高い地域の

放射線量の高い地域を支援するために



九州出身首都圏在住者が、避難支援の立場から福島の方に聞き取り、ネット上の声で分析しました。

放射線量の高い地域を支援するための情報・団体・寄付先

■子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

福島県内外に子どもを持つお母さん、お父さんが中心となって、たくさんの方々が参加して作られたネットワークです。

【寄付受付窓口】

振込口座 福島信用金庫 浜田町支店
普通 0178497 名義 子ども福島代表 中手聖一

■マゼンタ基金

知識普及(講演会等)の後押し、自主避難、子供の疎開生活、教育施設の除染など費用補助。活動を半年に一度程度はがき等で報告しています。

【寄付受付窓口】

①郵便局 口座記号番号 02230-6-110113 口座名称: マゼンタ福島子ども基金

②他の金融機関からのお振込み ゆうちょ銀行 二九九店 当座

0110113 口座名称: マゼンタ福島子ども基金

7代先の子どもたちのために行動する会『マゼンタ福島子ども基金』

〒992-0075 山形県米沢市赤芝町 178 FAX: 0238-32-2440

michiko.calen.ua@dococomo.ne.jp

■インターネット

「PORTAL311 被災者支援ポータルサイト」

「Moms to Save Children from radiation」

twitter @savefukushima さん

・mixi「被災から子供達を守る〜繋ぐ命〜コミュニケーション」

・Facebook「福島の子どもたちを守ろう」

・ふくしまの子どもを、守りたい避難先情報 wiki

http://www45.atwiki.jp/childreninfukushima/

■支援団体

・子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

・母子疎開支援ネットワーク hahako

・オペレーショナルモタチ

その他多数の支援団体が放射線量の高い土地の子どもたちをどうにか守れないかと動いています。

放射線量の高い地域を支援するために必要なこと

行政への要請

- 食品基準値見直し
- 原発作業員の上限見直し
- 福島の動きにくい環境を改善
- 各地方自治体への受け入れ要請
- 中央省庁の対応要請
- 東電の対応監視
- 政治家の対応要請
- 貧困の子供に対するケア

署名運動

デモ

直接問い合わせする

裁判

できるだけ被ばく量を少なくする

外へ伝えること

- マスコミに報道要請
- 世界へむけて現状を発信
- 外圧で状況を変える
- 危機意識の喚起
- 差別を起こさないための正しい知識の普及

避難すること

- 学童疎開／自主避難
- 避難受け入れ先拡大
- ショートステイ(夏休みが勝負)
- 各地方自治体への受け入れ要請
- 西日本からの支援の連携
- 企業へ雇用の創出要請

仕組みづくり

安全・安心に過ごせる safe spot づくり
危機意識持続のためのコミュニティづくり

声を広げよう! 手をつなごう!

なんで逃げないの?

内側のページを見てね!

孤立してしまった母親や子供、そして若者を救おう!
そして、食品による放射能汚染の広がりについて。。。
出来る限りのことをアイデアを出し合ってやって行こう!

内側のページを見てね!

放射線量の高い土地から漏れてきた
声を聴くこと

ボランティア

リアリティのある被ばく・汚染マップをつくる
(ボランティア先での被曝予防策として)

- 子供向け講演会
- 裁判支援
- 汚染の少ない食べ物を届ける(特に給食)
- 学校・地域社会除染
- 福島などと外部の交流会・学習会
- チラシ・イベントの企画
- 危機意識の喚起・内部被ばく対策・講演

疎開支援

寄付